

株式会社 新興電機製作所

ワイヤハーネス加工を試作から
量産まで一貫体制で対応

納期相談
企画力・自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



様々なワイヤハーネス製品を手がける

主な事業内容

ワイヤハーネス加工、電子機器・
制御機器の組立

主な取引先(納入先)

ダイトロン、マッスル、ダイヘン

主な製品

工業用機器向けワイヤハーネス、
電子機器・制御機器業務内容
製品は工業ミシンや
製品管理システムに採用

新興電機製作所は、工業用電子機器や制御装置のワイヤハーネス加工を専門とするメーカー。顧客ニーズに即した電線やケーブルの加工と束線、コネクタや端子の取付などの電線アセンブリを得意とする。部品・部材の調達から製造・検査まで行うほか、制御機器や機械装置への組込も請け負う。ハーネス加工では様々な太さや種類の電線を取り扱い、加工が難しい特殊電線にも精通する。

創業は昭和41年。現在、同社のハーネス製品は、高級ブランド製品の刺繍などを行う工業用刺繍機や世界的半導体メーカーの物流・倉庫管理システムに採用されている。

強み
生産状況をトレースし
不良にも即時対応

受注から製造、出荷までをカバーする独自の生産管理システムを構築し、業務の進捗状況を社内共有する。また、生産工程すべてを内製化することで試作・小ロットから量産品まで柔軟に対応するほか、ある顧客には機械装置1台に必要な30〜60種類のハーネスを1バック詰めにして出荷するなど多様なニーズに応える。

不良発生時には製品の生産状況をトレースし、原因が把握できれば即、各

部門に対策を周知徹底する仕組みも構築。「『できない』ではなく、『どうしたらできるか』を常に考え、不良を発生させないものづくりを模索し続けている」と話す立花温平社長の思いが、こうした生産体制につながっている。

生産技術
設備開発と同時に
手作業のスキルも向上

各工程では自動化・省力化に向け機械設備の独自開発を進めるとともに、製品の形状や製作工程に適した治具類も製作し、生産性向上につなげている。ただし、手作業に依存せざるを得ない工程もある。圧着やはんだ付け作業については、初級・中級・上級の3段階から成る資格認定制度を独自に創設。試験に合格し、一定レベルのスキルがあると認められた技術者が作業と検査を行う仕組みとしている。手作業のスキル向上に取り組み、安定した生産を実現しているのも同社ならではの強み。

また、社会貢献活動にも力を入れている。障がい者の社会参加や自立支援を目的に、障がい者支援施設に工程の一部を協力依頼。同社技術者が技術指導を行ったりうえ作業を担ってもらっている。心と心をハーネスでつなぐをモットーとする同社らしい社会貢献活動であり、このような人と地域とつながる姿勢が企業価値を高めている。

社長あいさつ

代表取締役社長
あつなり
立花 温平さん

“心と心をハーネスでつなぐ”をスローガンとし、お客様からの信頼を高めるために、常に品質の良い製品をいち早く提供できるよう努めてきました。製造技術の向上と人材育成に力を入れ、従業員の働きやすい環境づくりにも取り組みながら、安定したものづくりを続けていきます。

主な保有設備

- 全自動両端圧着機 C551Sほか
小寺電子製作所製 3台
- ストリップ圧着機
LPC220S-220Vほか
日本オートマチックマシン製ほか 12台
- 中太線材加工機 C373Aほか
小寺電子製作所製 7台
- 自動ワイヤストリッパー
RotaryStrip2400ほか
Schleuniger製 15台
- ハーネスマルチテスタ NMG256ほか
ナックコーポレーション製 6台

大阪
06住 所／〒566-0072
摂津市鳥飼西
3-10-6

T E L／072-653-4518

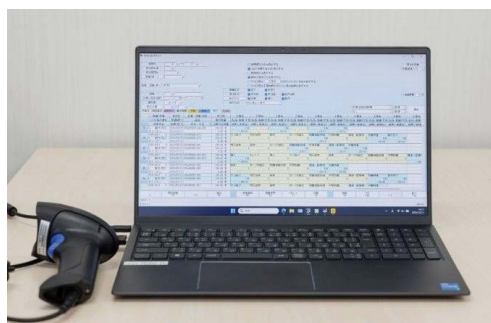
F A X／072-653-5693

創 業／昭和41年 4 月

設 立／昭和55年10月

資本金／1,000万円

従業員／39名



独自生産管理システムの画面



圧着作業の様子

<https://sdss.co.jp/>